





2024年3月期 第2四半期決算 説明資料

2023年11月10日

上場市場：東証スタンダード市場
証券コード：9083



 2024年3月期 第2四半期決算

 2024年3月期 業績予想

 株主還元



2024年3月期 第2四半期決算

2024年3月期の第2四半期は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」への移行に伴う経済活動の活性化により、前年同期比で売上高は増加、営業利益・経常利益ともに黒字回復、当期純利益は赤字幅縮小となった。

自動車運送 (乗合バス事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスは、移動需要の緩やかな回復や通勤・通学需要を取り込む増便等で、輸送人員が前年同期比+6.7%（ICカード利用者数） ・高速バスも、移動需要の緩やかな回復に加え、淡路島線の共同運行拡大等で、輸送人員が前年同期比+12.6%※
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸は、新たに収益物件用地を取得したことにより賃料が増加 ・住宅は、建売住宅の販売戸数や分譲地の販売区画数が増加 ・建設は、商業施設等の建築工事により売上が増加
旅行貸切	<ul style="list-style-type: none"> ・募集型企画旅行（自社ツアー）は、前年同期に県民割等を活用したツアー需要が高まったことの反動による増加の鈍化 ・貸切バスは、会社団体、ツアー、イベント輸送の受注が増加 ・インバウンドツアーは、訪日観光客の大幅な増加に伴い大きく回復

※2023年4月より淡路島線の4社共同運行を開始（比較は4社共同運行前の人員数を適用）

2024年3月期 第2四半期業績（連結）

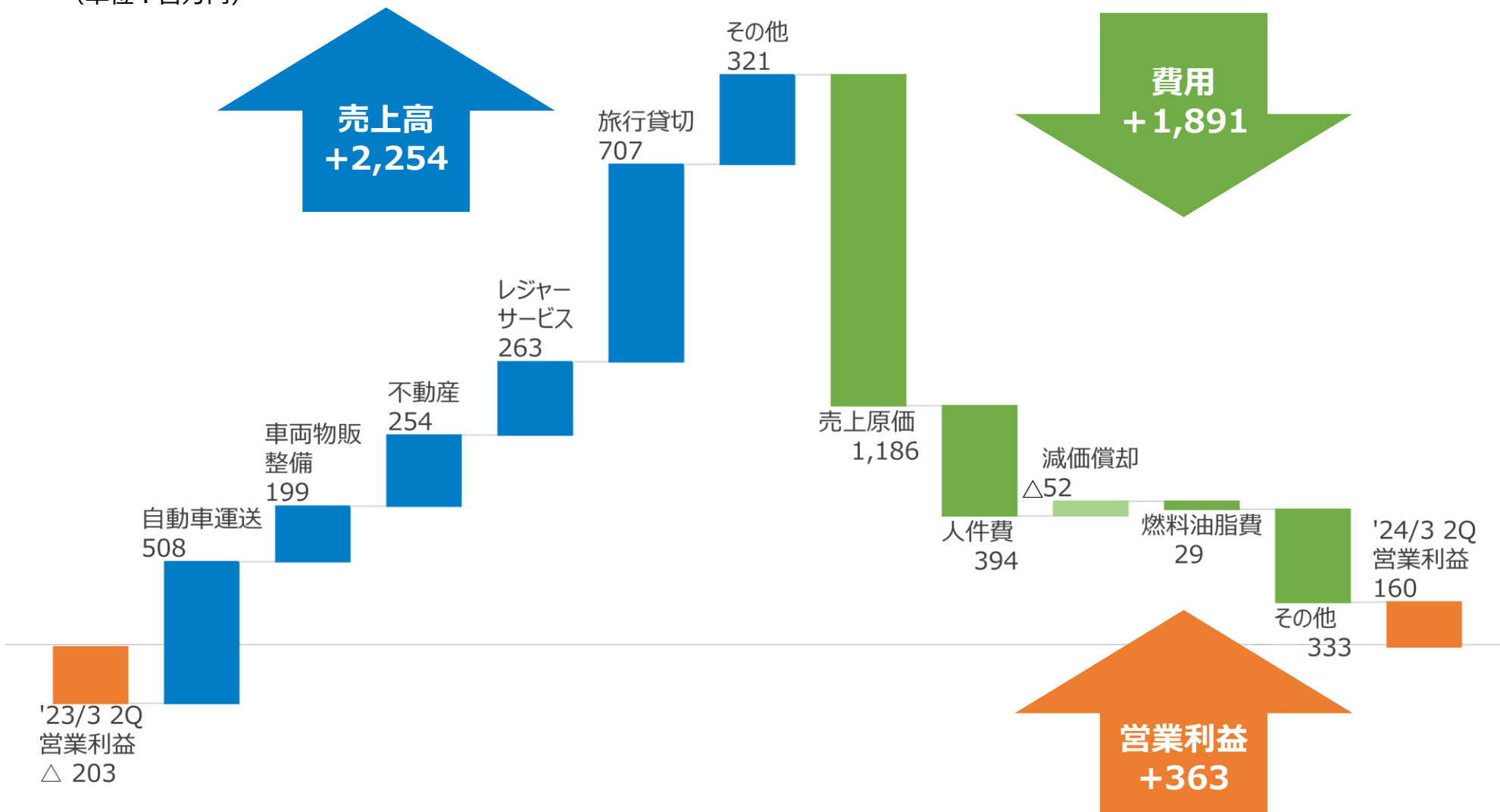
(百万円)	2024年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,258	20,003	+2,254	+11.3%
営業利益	160	△203	+363	—
経常利益	173	△63	+237	—
経常利益率	0.8%	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△20	△119	+100	—
1株当たり四半期純利益	△3.32円	△19.91円	+16.59円	—

2024年3月期 第2四半期業績 (セグメント別) 神姫バス株式会社

(百万円)	2024年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,258	20,003	+2,254	+11.3%
自動車運送	9,845	9,337	+508	+5.5%
車両物販・整備	3,476	3,277	+199	+6.1%
不動産	2,096	1,842	+254	+13.8%
レジャーサービス	2,250	1,986	+263	+13.3%
旅行貸切	2,441	1,733	+707	+40.8%
その他	2,147	1,825	+321	+17.6%
営業利益	160	△203	+363	-
自動車運送	△662	△757	+94	-
車両物販・整備	285	240	+45	+18.7%
不動産	640	587	+53	+9.1%
レジャーサービス	27	△30	+58	-
旅行貸切	△28	△144	+115	+80.1%
その他	△106	△104	△2	△2.0%
(セグメント間取引消去)	4	6	△1	△22.5%

営業利益 増減要因

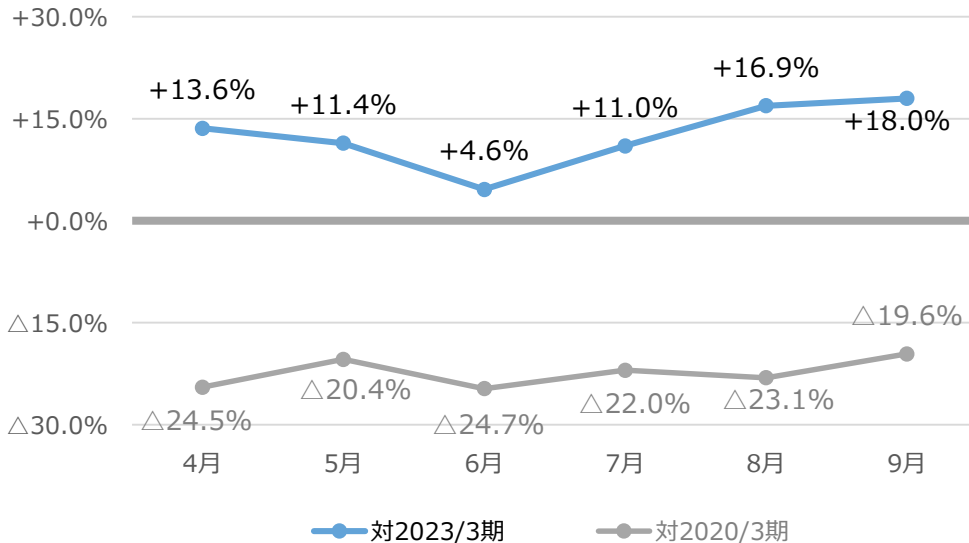
(単位：百万円)



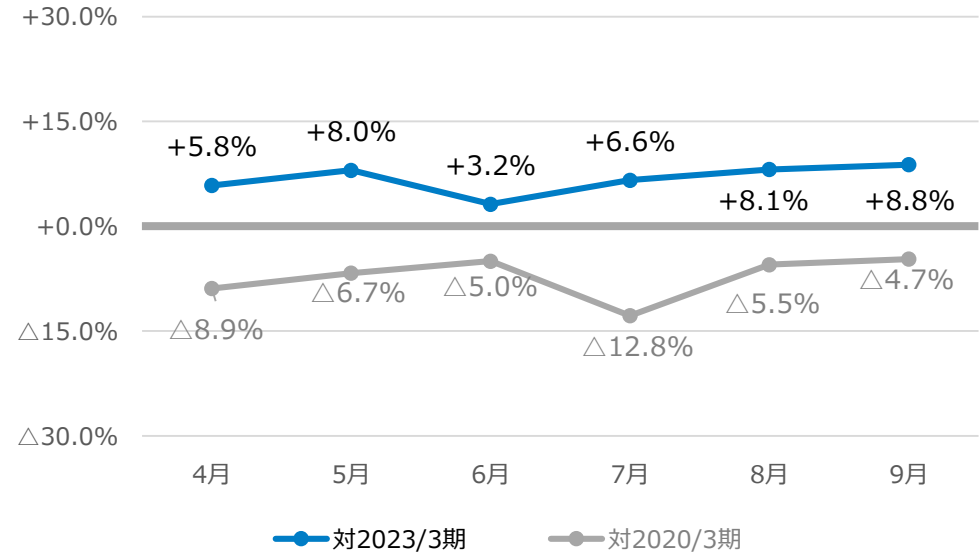
「5類感染症」移行による行動制限緩和で高速バス・路線バスとも利用者増、あわせて定期券割引率の見直し（2022年10月～）、三田～大阪・新大阪線の増便などの路線強化により増収
引き続き新車購入の一時凍結による減価償却費の抑制を図ったものの、乗務員の処遇改善による人件費増や燃料価格高騰による燃料油脂費が増加

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	4,933	4,912	9,845	4,636	4,700	9,337	+507	+5.5%
営業利益	△231	△431	△662	△316	△440	△757	+94	+12.5%

高速バス 利用人員対比※
【対前期('23/3期)・対コロナ前('20/3期)】



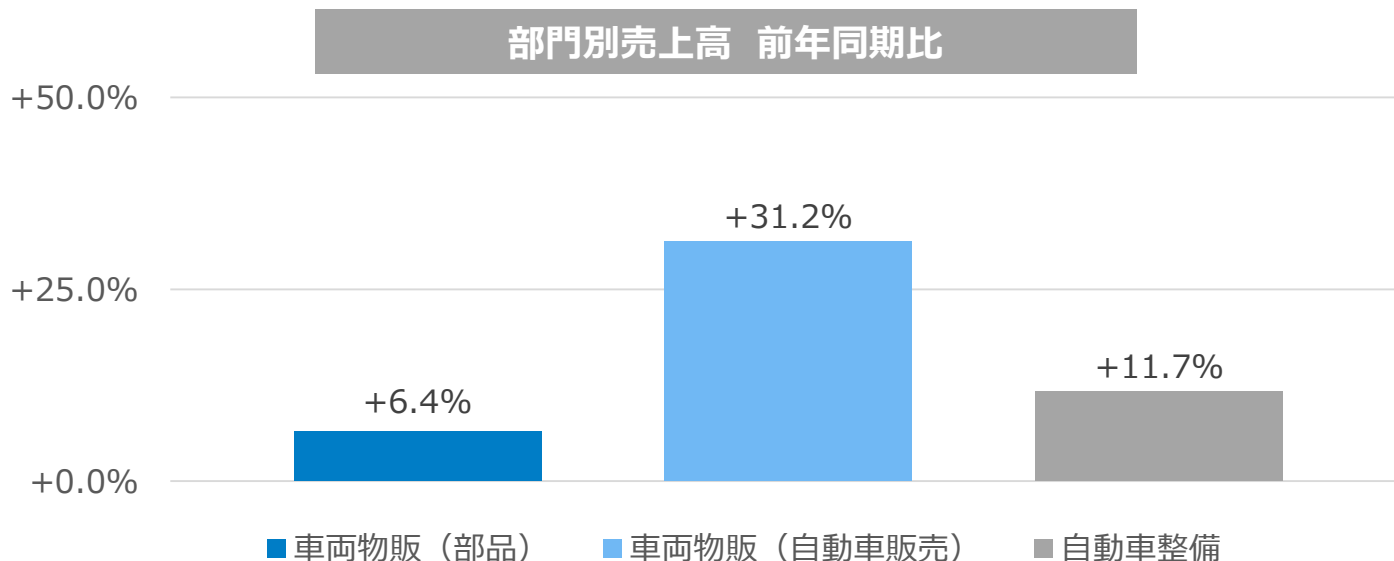
路線バス ICカード利用人員対比
【対前期('23/3期)・対コロナ前('20/3期)】



※2023年4月より淡路島線の4社共同運行を開始（比較は4社共同運行前の人員数を適用）

- 車両物販では、部品・タイヤ販売部門は自家用車両使用年数の長期化や製品価格の高騰により増収、自動車販売部門は自家用高級車両や中古バスなどの販売が増加し増収
- 整備は、車検整備台数の増加（前年同期比+4.1%）に加え、高額な修理や車体改造の受注が増加し増収

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,686	1,789	3,476	1,572	1,704	3,277	+199	+6.1%
営業利益	123	162	285	104	136	240	+45	+18.7%



■ 賃貸は、1月取得のスポーツ施設用地(愛媛県松山市)、3月取得のサービス付き高齢者向け住宅(姫路市内)、6月取得の※¹赤穂市商業施設用地による賃料増で増収(前年同期比+6.2%)

■ 建設は、※²姫路市内自治会集会所、豊中市内商業施設等の建築工事により増収(+41.8%)

■ 住宅販売は、注文住宅△30.0%・リフォーム△19.3%となったが、建売+518.4%・土地+7.0%(いずれも売上高の前年同期比)となり増収

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	847	1,249	2,096	841	1,001	1,842	+254	+13.8%
営業利益	261	378	640	281	305	587	+53	9.1%



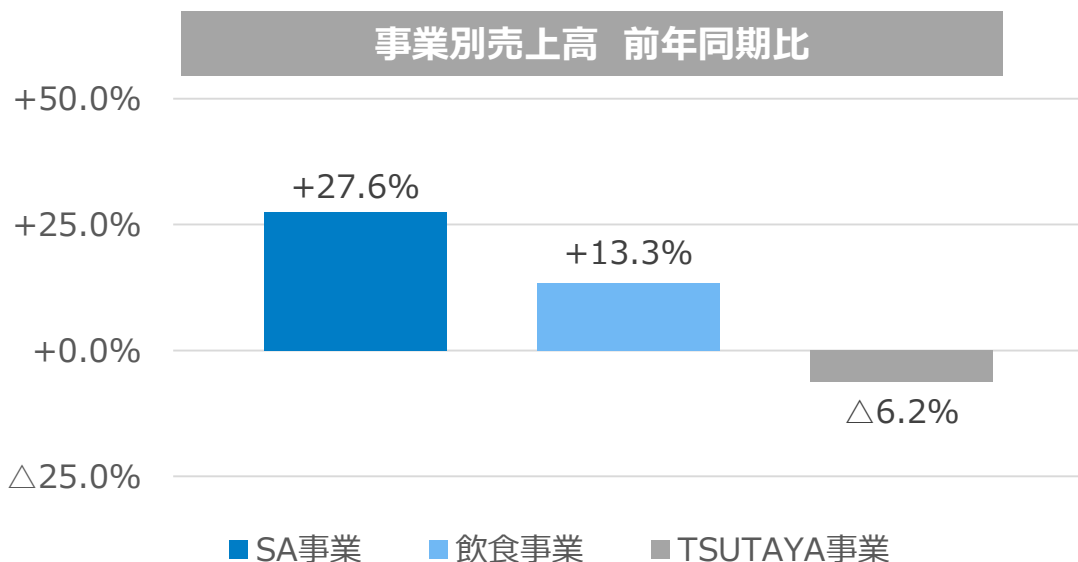
※¹赤穂市商業施設用地 ('23/6取得)



※²姫路市甲阿保集会所 ('23/9竣工)

- サービスエリアは、高速道路の交通量増加に伴い来店客数が増加(前年同期比+18.3%)し増収
- 飲食店は、全体的な外出需要の増加や前期オープンした新店舗(2店舗)の寄与により増収
- TSUTAYAは、1店舗でトレーディングカードの販売を開始したが、レンタル利用が伸び悩み減収

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,077	1,172	2,250	947	1,039	1,986	+263	+13.3%
営業利益	2	25	27	△23	△7	△30	+58	-



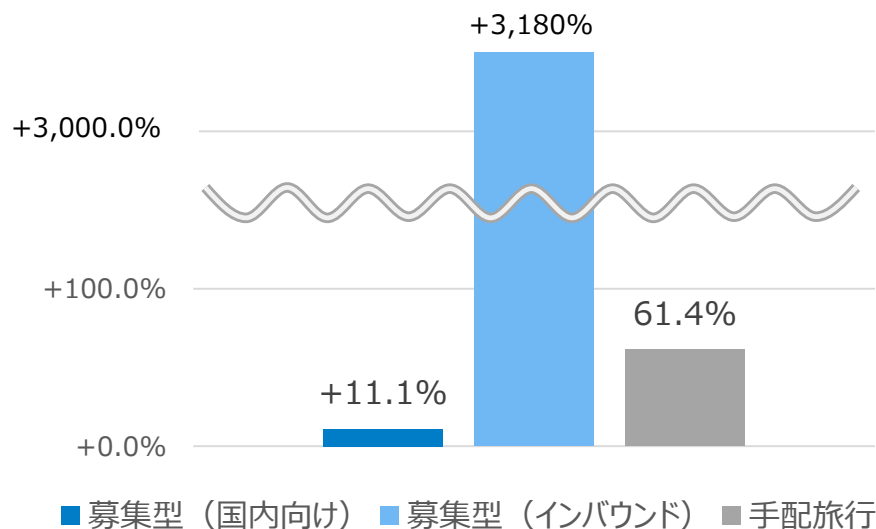
多店舗展開する炭火焼き豚丼専門店「豚小家」

旅行は、国内向け募集型企画旅行が前期の県民割等を活用したツアーの反動による伸長の鈍化はあったが、インバウンドツアーが大きく回復したことに加え、会社団体等の手配旅行も回復し増収

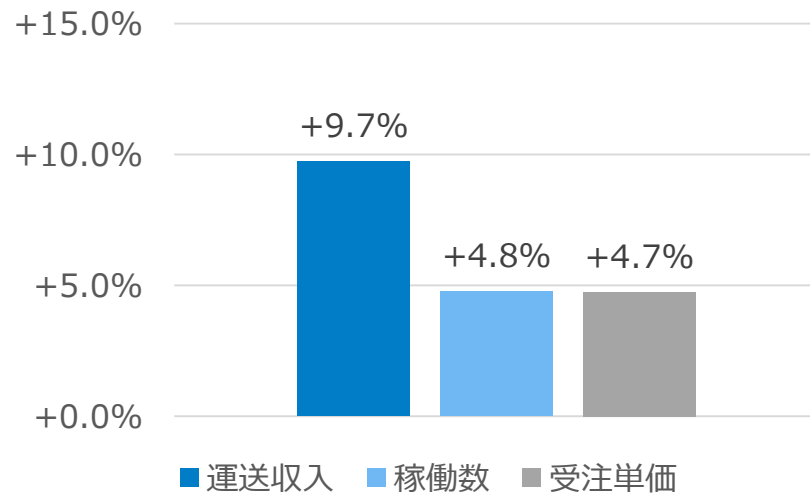
貸切バスも、会社団体やイベント輸送の復活により増収

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,246	1,194	2,441	924	809	1,733	+707	40.8%
営業利益	5	△33	△28	△32	△112	△144	+115	-

旅行取扱 前年同期比較



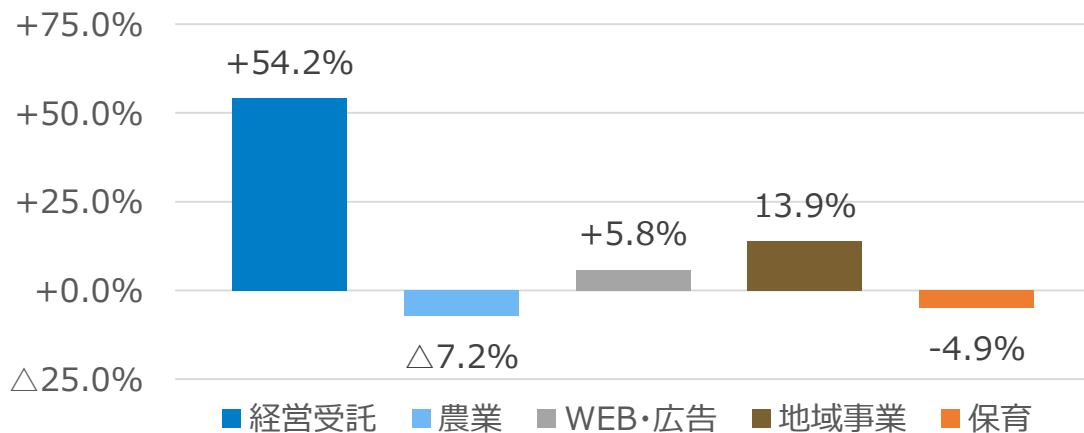
貸切バス稼働 前年同期比較



- 経営受託（公共施設管理）は、既存指定管理施設での利用者増や、三田市都市公園の施設を新規受託したことなどにより増収
- 農業は、販売事業が小売店「バスの八百屋」3店舗で増収（前年同期比+3.0%）となったが、集荷場事業が猛暑による集荷額が減少（前年同期比△10.4%）し減収
- WEB・広告は公募案件の制作収入増、地域事業は運営するECサイトの販売増、保育は園児数の減と給付費精算の月ずれによる減収

(百万円)	2024/3期			2023/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,072	1,075	2,147	894	931	1,825	+321	+17.6%
営業利益	△51	△54	△106	△52	△52	△104	△2	-

主なその他事業別売上高 前年同期比較



ECサイトのリアル店舗として2023年8月にオープンした「Travel Lab（トラベルラボ）」

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年9月末	2023年3月末	増減額	主な要因
流動資産	15,679	16,789	△1,110	
現預金	9,775	9,973	△198	収益物件取得支払いなど
売掛金	3,792	5,160	△1,367	運行補助金回収など
その他	2,111	1,655	+455	
固定資産	44,555	43,838	+717	
有形固定資産	36,759	36,218	+541	収益物件取得など
その他	7,795	7,619	+176	
資産合計	60,234	60,627	△392	
負債	15,314	15,720	△405	
有利子負債	2,548	3,011	△462	借入返済による減
未払金	2,712	2,689	+23	
その他	10,053	10,019	+33	
純資産	44,920	44,907	+13	
負債純資産計	60,234	60,627	△392	
※Net Cash	7,227	6,962	+265	

※Net Cash=期末現預金－期末有利子負債残高

自己資本比率74.6%

■ 前年同期と比較して、営業CFは売上債権が減少し、投資CFは収益物件などの有形固定資産購入が減少。結果として、FCFが黒字回復

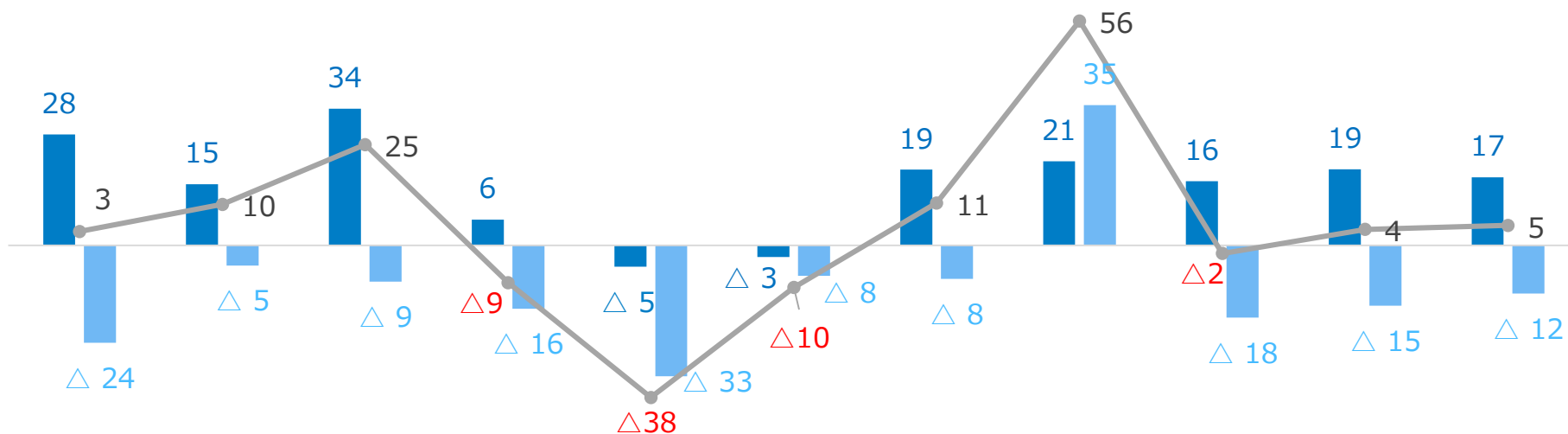
キャッシュフロー推移

(単位：億円)

■ 営業キャッシュフロー

■ 投資キャッシュフロー

● FCF



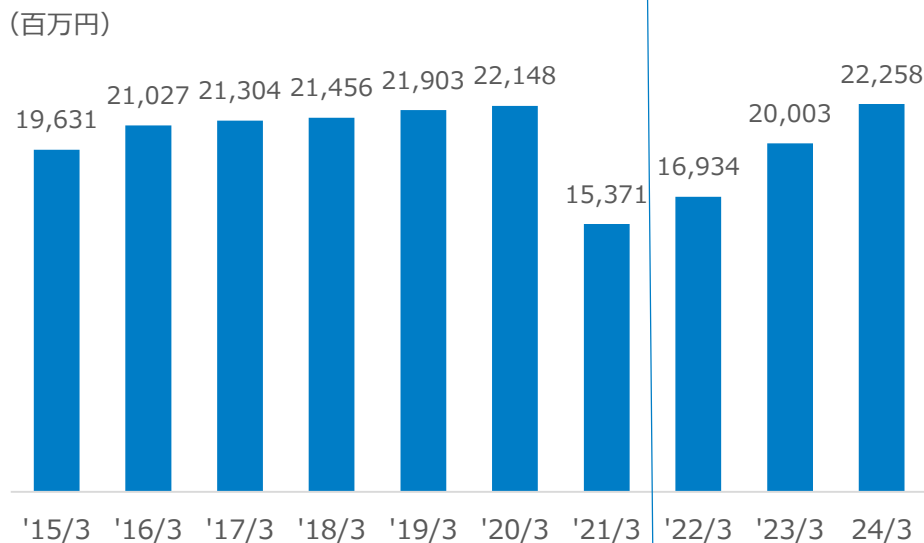
2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
上期	下期	上期	下期	上期	下期
上期	下期	上期	下期	上期	下期

*FCF=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

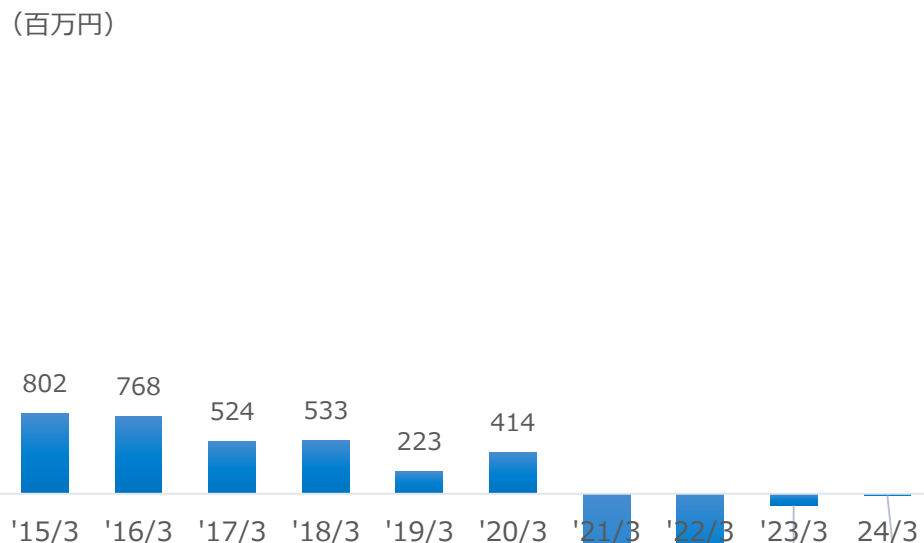
■ 売上高ではコロナ禍前（2020/3期）のおおよそ90%程度（「収益認識に関する会計基準」を考慮）まで回復

■ 利益では2021/3期以降の新型コロナウイルス感染症による影響に加え、2024/3期は乗務員を含む社員処遇の改善や燃料油脂費の高騰を受け赤字計上

売上高（第2四半期）



親会社株主に帰属する四半期純利益（第2四半期）



※「収益認識に関する会計基準」を適用
 '21/3期以前は、新たな表示方法による組替えを行っていない。



2024年3月期 業績予想

■ 上期において自動車運送業を中心に需要の回復が想定を上回ったことや、下期においても全事業で更なる需要回復や12月実施予定の路線バス運賃改定効果を見込み業績修正

(百万円)	2024年3月期 業績予想 (11月10日開示)	2024年3月期 業績予想 (5月15日開示)	業績予想 増減額	2023年3月期 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	49,100	47,800	+1,300	44,820	+4,280	+9.5%
営業利益	2,650	2,210	+440	2,362	+288	+12.2%
経常利益	2,770	2,330	+440	2,622	+148	+5.6%
経常利益率	5.6%	4.9%	+0.7pt	5.9%	△0.3pt	-
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,760	1,490	+270	1,766	△6	△0.3%
1株当たり当期純利益	292.20円	247.45円	+44.75円	293.30円	△1.10円	△0.4%

※2023年5月15日発表の業績予想から修正

2024年3月期 下期業績見通し

■ 半期ベースでは、事業全体の回復基調および例年の季節要因や運行補助金からも下期に黒字浮上を想定

■ 2023/3期と比較すると、需要回復や運賃改定効果による増収を見込むも、乗務員を含む社員処遇の改善による人件費増加や物価高騰による費用増により減益

(百万円)	2024年3月期（上期実績+下期見通し）				2023年3月期（実績）	
	上期	下期見通し	対前期下期との増減額	対上期との増減額	上期	下期
売上高	22,258	26,841	+2,024	+4,583	20,003	24,817
営業利益	160	2,489	△76	+2,329	△203	2,565
経常利益	173	2,596	△90	+2,423	△63	2,686
経常利益率	0.8%	9.7%	△1.1Pt	+8.9Pt	—	10.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	△20	1,780	△105	+1,800	△119	1,885

2024年3月期 業績予想（セグメント別）

(百万円)	2024年3月期 予想（11/10開示）	2023年3月期 実績	実績比	
			増減額	増減率
売上高	49,100	44,820	+4,280	+9.2%
自動車運送	22,440	21,420	+1,020	+4.8%
車両物販・整備	9,354	8,819	+535	+6.1%
不動産	6,030	5,249	+781	+14.9%
レジャーサービス	4,484	4,028	+456	+11.3%
旅行貸切	5,905	4,548	+1,357	+29.8%
その他	4,593	3,853	+740	+19.2%
(調整額)	△3,706	△3,099	△607	△19.6%
営業利益	2,650	2,362	+288	+12.2%
自動車運送	711	630	+81	+12.9%
車両物販・整備	624	582	+42	+7.2%
不動産	1,425	1,305	+120	+9.2%
レジャーサービス	41	△44	+85	—
旅行貸切	73	20	+53	+265.0%
その他	△178	△134	△44	△32.8%
(調整額)	△46	2	△48	—



自動車運送

- 路線バス
運賃改定による増収効果
(運賃改定の詳細は次ページ参照)
- 高速バス
長距離移動の更なる回復
閑空リムジン再開による増収効果



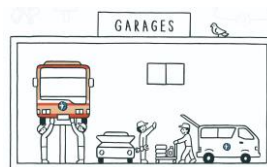
不動産

2023/3期下期から2024/3期上期に
取得した収益物件の賃料増と、建物管
理の受注増を加味



旅行貸切

募集型企画旅行・手配旅行とも移動
需要の回復が継続すると想定。インバ
ウンド需要も上期と同様に大きく回復す
ると見込む



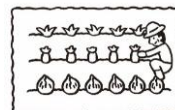
車両物販・整備

新車生産の遅延が続くことで、既存車両の
車検や整備、中古車販売が好調。
車検や整備の増加に加えて、部品単価の
値上げもあり売上が増加



レジャーサービス

飲食は新形態店舗のうち、新規出店を2
店舗と業態変更を1店舗実施予定。
TSUTAYA (レンタル・物販) は、レンタル
が弱含みで推移し、収益確保策として物
販でのトレーディングカード販売を強化



その他

経営受託の新規受託分、農業の小売店2
店舗出店分、「travel Lab」出店によって増
収を見込む。
一方で、各出店費用や賃料、周知に向けた
広告料などの費用増が影響。



一般路線バスの上限運賃変更の認可申請

当社が運行する一般路線バス全線（神戸市内および三木市内の一部路線を除く）の運賃改定

- ・2023年12月1日と2024年秋以降の2段階で実施予定
- ・一般路線バスの運賃改定は1997年1月以来（消費税率引き上げに伴う転嫁は除く）

【改定理由】

- ・ 少子高齢化による沿線人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を経た新たな生活様式の定着による収入の減少
- ・ 深刻化する乗務員不足の解消を図るための処遇改善、安全対策に係る車両更新、燃料費をはじめとした物価高騰などによる費用は増加



収入と費用の両面から事業経営を圧迫

年月	内容
2023年9月11日	国土交通省近畿運輸局へ一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更の認可申請（10月30日付け認可）
2023年12月1日	運賃改定実施予定※1
2024年秋以降	運賃改定実施予定

※1実質運賃平均改定率…6.3%





株主還元

■ 中間は1株当たり17.50円を配当

■ 当社の配当政策の基本方針に基づき、期末は17.50円を配当予定
(2024年3月期年間は1株当たり35.00円を配当予定)

配当状況および配当予想

(円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 (予想)	対前期比
1株当たり当期純利益	290.55	164.99	△359.94	354.90	293.30	292.20	△1.10
1株当たり配当金	35.00	35.00	17.50	35.00	※ ² 40.00	35.00	△5.00
※ ¹ 配当性向	12.0%	21.2%	—	9.9%	13.6%	12.0%	△1.6pt

※¹配当性向 = 配当金の支払い額/当期純利益

※²2022年8月に創立95周年を迎え、+5円の記念配当を実施

< 免責事項 >

当資料に記載されている内容のうち、過去の事実以外のものは、いくつかの前提に基づいた見通しであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
総務部 秘書広報課
079-223-1241 (代表)
ir@shinkibus.co.jp